



# クラブだより12月

2022年12月1日

社会福祉法人ピスティスの会  
中部放課後児童クラブ 分室



毎日の寒さが少しずつ厳しくなりはじめ、本格的な冬の訪れを肌感じます。今年も瞬く間に季節が過ぎていき、気が付けば1年の最後の月となりました。

大人には寒さが堪える中、「先生、全然寒くないよ!」と毎日元気に遊ぶ姿が逞しく、また羨ましくも感じております。

今月の児童クラブでは、室内でクリアファイルに様々なキャラクターの写し絵をすることが流行しています。枠から色ぬりと細かい所まで集中して行っています。完成すると笑顔で職員に見せてくれます。自分だけのオリジナルのファイルが出来上がっています。また、外遊びではボール遊びが人気でサッカーやハンドパスボールを楽しんでいます。さらにリレーを行う時もあり、異学年でチームを構成して競争しています。チームプレイを大切に遊びのため、子どもたち同士でコミュニケーションを取る良い交流の場になっています。

これからの時期はインフルエンザをはじめ感染症が流行する時期ですので、引き続き児童クラブでは手洗い、うがい、マスクの着用を確認し、子どもたちの体調管理に十分配慮をしながら過ごしていきたいと思っております。



## 子どもたちの様子



「自分が降所するまでには宿題を絶対終わらせる!」という気持ちが感じられる宿題時間の様子です。宿題に集中しています。



図書スペースでマンガに夢中! 色々なジャンルがありますが、最近はワンピースが人気のようです。



カードゲームの「ウノ」は、普段7枚の手札で始まりますが、手札枚数に変化をつけたり子どもたちで工夫しながら遊び、盛り上がっています。



女の子たちが折り紙で作成したカービィです♪ 細かく折る作業で集中して作成していました。